

道徳学習指導案

授業者 武田 宇弘

学級担任名 武田 宇弘

1 日時 平成30年10月30日(火曜日) 5校時(13:30~14:20)

2 学級 1年 1組(3階支援室①) 男子 14人 女子 13人 計 27人

3 主題名 家族の絆 テーマ「あなたと家族をつなぐものとはなんだろう」

内容項目 D(14) 家族愛

父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。

資料名 「365×14回分のありがとう」

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

学習指導要領にあるように、中学1年生の段階では、自立心も十分に育っておらず依存的な部分も見受けられる。しかし、徐々に自我意識が強くなり、自分の判断や意志で生きていこうとする自律への意欲が高まってくる。そのため、自分を支えてくれる父母や祖父母の言動やしつけに反抗的になりがちである。ちょっとした忠告や叱責が、あたかも自分の全てを否定されたかのように思えて、時として、父母の意向に反した行動や、父母の意向を無視した行動となって現れることもある。本時では、生まれつきの心臓疾患によって母の支えを命の糧としてきた少女が、大手術に臨む前にしたためた母への感謝の手紙を資料としている。母と子の行動の真意を考え、親子の愛を感じ、家族への敬愛の念を深めさせていきたい。

(2) 生徒の実態

1年1組の生徒たちは、親と良好な関係を築いている生徒が多い。親の意見を大切にできる姿、また我が子を心配する姿が多く見られる。しかし、反抗期に入り、親に対する反抗的な考えや態度をもつ生徒もやはり少なくない。中でも、Kさんは同級生に対して迷惑をかけたことを母に注意されても、時間が経つと同じことをくり返してしまう。母を大切に思う気持ちは、十分に伝わってくるが、母がどのような気持ちで自分に声をかけているかが理解されていないからだと思われる。しかし、これはKさんだけでなく、思春期を迎えた生徒たちすべてに対して言えることである。本時を通して、今の自分が家族の愛に支えられていることに気づき、家族への感謝の気持ちをもつこと、また自身の行動を見つめ直し、家族の愛に応えようとする姿勢を考えさせたい。

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

佐江子の母への手紙を通して、今の自分が家族の愛に支えられていること、または愛情に守られて今日があることに気づき、家族を大切にしよう、家族のためにできることをしようと、家族の愛に感謝の心で応えようとする道徳的心情を育む。

(2) 授業構想

資料はあらかじめ黙読させておく。アンケートから感謝の気持ちをもちながらも、照れや恥ずかしさからその思いを伝えられない自分に気づかせる。そして、母への感謝の思いを綴った手紙を読んで感じたこと取り上げ、心に響いた部分を発表させる。佐江子の母への感謝の気持ちについての意見が多く挙げられると考えられる。そこで、「佐江子はその感謝の気持ちをなぜ手紙で伝えたのか」、「この手紙は佐江子と母にとってどんなものだったのか」を生徒に問う。言葉で伝えるよりも、手紙の方が形として残る。自分の字で書いた方が、愛情が伝わるなど、手紙に込められた佐江子の気持ち、また母にとっても佐江子との絆をつなぐ大切な手紙だと感じるだろう。最後に、互いを支え合う佐江子と母、自分を支える家族の存在を確認し、本時の授業を通して思ったこと書かせる。自分自身が照れや恥ずかしさから伝えられなかった家族への思いを書かせることで、自分も家族の愛に支えられている、または守られていることに気づき、その愛に応えようとする姿に結びつけたい。

(3) 本時の展開

指導 過程	<p>○「教師の働きかけ ・ 予想される生徒の活動 主発問 ☆支援 ◎留意点 ◇評価</p>
つ か む	<p>○家族に「一言、言いたい」のアンケート結果を見てみましょう。 感謝：いつも○○くれてありがとう。 不満：勉強は言われなくてもできる（自主的に勉強してほしい） 要望：○○を買ってください（○○を買わないようにしている。なぜ？すぐ買わずにものを大切に使ってほしい） ◎集計結果を電子黒板に提示する、家族に対して感謝の思いがあることを共有する。 ○日頃、感謝の思いを親に伝えているか。また、伝えられないのはなぜか問う。 ◎照れや恥ずかしさがある自分、反抗期にある自分に気づかせ、本資料につなげる。</p> <p>◎本時のテーマが「あなたと家族をつなぐものは何か」であることを伝え、資料に入る。 ○この手紙を読んでどんなことを感じましたか。またそう感じた理由も教えてください。 ・佐江子さんとお母さんの頑張りに感動した。お母さんはいつも佐江子さんを支えている。佐江子さんもお母さんに心配かけないように強く生きようとしている。 ・かわいそう。病気でみんなと同じことができないから。 ・優しいお母さん、佐江子のために頭を下げてくれるから。 ・お母さんと佐江子さんの絆はとても強いと感じた。お互いの考えや気持ちがつながっている。 ・心臓病で辛いはずなのに、支えてくれたお母さんに感謝し、強く生きようとしている佐江子さんはすごい。 ◎1つの意見につながりをもたせるため、その都度、周囲に思ったことを聞く。 ◎母から佐江子への愛、佐江子から母への愛、前向きに進もうとする姿勢に注目させたい。また、同じ部分であっても、理由は大切に扱う。</p>
広 げ る ・ 見 つ め る	<p>佐江子さんはなぜ母への感謝を手紙で伝えたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で伝えるのは恥ずかしかったから。 ・言葉では悲しくなって伝えられない。 ・感謝しているお母さんとのこれからのことを考えることで強く生きていこうと思ったから。 ・もしかしたら死んでしまうかもしれない。私を支えてきてくれたお母さんをまた悲しませてしまう前にこの手紙で母への感謝を伝えたいから。形に残しておきたいと思った。 ・体はとても苦しい、でもお母さんのおかげで私は幸せだということを伝えたいから。伝えることで、私のことで苦勞をかけているお母さんを励ましたいと考えたから。手紙の方が愛情が伝わるから。 ・今までのことを振り返り、母への愛情を確かめたかった。 <p>◎わざわざ十四年間を振り返って、手紙を書いているのはなぜかを問い、母への感謝の気持ちをとらえる。 ◎まずグループで中心発問について話し合う。その後、意見を求める。同調する生徒に、他の理由を尋ねたり、疑問に感じる生徒に多面的な意見を出させたりする。</p>
高 め る ・ つ な げ る	<p>○この手紙は母と佐江子さんにとってどんなものだったのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐江子が亡くなっても、佐江子と母をつないでいる。 ・母と佐江子が今でもつながっている証。 ・佐江子と母の間に強い家族愛があった証。 <p>◎母と佐江子の間に、母と子の愛が存在していること。その愛が、2人をつなぎ共に支え合っていることを確認する。 ◎この手紙が、佐江子が亡くなったあとも母を支えていることや母と佐江子をつないでいるものであるとの意見が出なかった場合、佐江子へあてた母への手紙を範読する。</p> <p>○今日の授業を通して思ったことを書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐江子さんのように、今の私も家族に支えられている。日頃の感謝をなかなか伝えられないけど、たまには言葉や手紙で思いを伝えたいと思う。そして、私も家族を支えられるように自分にできることをしたい。 ・家族にも愛が存在し、お互いを支え合っている。佐江子さんとお母さんのように、日頃の感謝の気持ちを伝えたい。そして、私も家族を支えられる存在になりたい。 ・家族はいつも私を支えてくれている。うるさいと思ってしまう言動も私のためを思っている行動だと思う。その気持ちに感謝して、私も家族のために行動できたらと思う。 <p>◎佐江子さんとお母さんのように、誰にでも自分を支える家族がいることを確認し、自身を振り返らせたい。 ◇今の自分が家族の愛に支えられている、または守られていることに感謝し、その愛に応えようとしている。 （発言・ワークシート）</p>

「三六五×十四回分のありがとう」
「手紙を読んで感じたこと」

佐江子

- ・母への感謝
- ・母のおかげで今の私は幸せ
- ・いつも私を支えてくれた
- ・病気で辛くても明るく前向き
- ・行きたいという意思が強い

手紙

お母さん

- ・佐江子をいつも支えている
- ・「がんばれ」を連呼。